

## ● 韓 国

### マクロ経済動向

韓国銀行（中央銀行）が4月27日に公表した2021年第1四半期の成長率（速報値）は、季節調整値で前期比1.6%となり、前期の同1.4%を上回った。需要項目別に見ると内需では、最終消費支出は同1.3%で前期の同▲1.2%からプラスに転じた。固定資本形成は同2.3%で前期の同2.6%から低下した。その内訳では、建設投資はビル建設の伸びにより同0.4%となった。前期の同6.5%からは低下した。設備投資は一般機械及び輸送機械部門の伸びにより同6.6%となり、前期の同▲2.0%からプラスに転じた。外需である財・サービスの輸出は自動車、携帯電話の輸出の伸びにより同1.9%となった。前期の同5.4%からは低下した。一方で財・サービスの輸入も機械・設備、金属製品の輸入の伸びで同2.4%となった。

2021年第1四半期の鉱工業生産指数伸び率は季節調整値で前期比3.5%となり、前期の同2.9%から上昇した。月次では季節調整値で、2021年2月に前月比4.4%、3月に同▲0.8%となっている。

2021年第1四半期の失業率は季節調整値で4.4%であった。月次では2021年2月に4.0%、3月は3.9%となっている。

2021年2月の貿易収支（IMF方式）は60億ドルの黒字であった。

2021年第1四半期の対ドル為替レートは1ドル=1115ウォン、月次では2021年2月に同1112ウォン、3月に同1131ウォン、4月に同1118ウォンと推移している。

2021年第1四半期の消費者物価上昇率は前年同期比1.1%であった。月次では2021年2月に前年同月比1.1%、3月に同1.5%、4月に同2.3%と推移している。2021年第1四半期の生産者物価上昇率は前年同期比2.3%であった。月次では2021年2月に前年同月比2.1%、3月に同3.9%であった。

### ソウル、釜山の市長選挙と首相交代

文在寅政権の任期が残り一年となる中、4月7日に大統領選の行方を占う韓国の二大都市、ソウル、釜山の市長選挙が行われた。この選挙はいずれも、革新系与党「共に民主党」の現職が、セクハラが発覚によって自殺、辞職したため実施されたものである。結果は両市とも保守系

野党「国民の力」の候補者の圧勝となった。ソウルでは「国民の力」の呉世勲氏が57.5%の得票率を記録し、また市内の25区の全てにおいて勝利した。また釜山でも「国民の力」の朴亨俊氏が62.7%の得票率で圧勝した。この選挙の結果は、来年の大統領選挙における与党の勝利に暗雲を投げかけるものとなった。

選挙後の4月16日、文在寅大統領は丁世均首相に代わり元行政安全部長官の金富謙氏を文政権の3人目の首相に指名した。同時に5名の閣僚を交代させた。

4月29日に世論調査会社4社が合同で行った世論調査結果によれば、大統領候補者としては、与党所属の京畿道知事の李在明氏が24%、保守系野党からの立候補が取りざたされている前検事総長の尹錫悦氏が23%の支持を集めている。また文在寅大統領の支持率は38%、不支持率は56%という結果であった。来年の大統領選に向けて流動的な政治状況を示している。

ERINA 調査研究部主任研究員  
中島朋義

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	20年 4-6月	7-9月	10-12月	21年 1-3月	21年1月	2月	3月
実質国内総生産(%)	2.9	3.2	2.9	2.0	▲ 1.0	▲ 3.2	2.1	1.2	1.6	-	-	-
最終消費支出(%)	3.0	3.1	3.7	2.9	▲ 2.4	1.4	0.1	▲ 1.2	1.3	-	-	-
固定資本形成(%)	6.6	9.8	▲ 2.2	▲ 2.8	2.6	▲ 0.4	▲ 1.4	2.6	2.3	-	-	-
鉱工業生産指数(%)	2.2	2.5	1.5	▲ 0.1	0.4	▲ 7.1	6.0	2.9	3.5	▲ 1.2	4.4	▲ 0.8
失業率(%)	3.7	3.7	3.8	3.8	4.0	4.2	3.8	4.1	4.4	5.4	4.0	3.9
貿易収支(百万USDドル)	116,462	113,593	110,087	79,812	81,945	9,501	26,202	30,614	-	5,734	6,047	-
輸出(百万USDドル)	511,926	580,310	626,267	556,668	516,604	108,779	132,100	146,104	-	46,662	44,708	-
輸入(百万USDドル)	395,464	466,717	516,180	476,856	434,659	99,278	105,898	115,490	-	40,928	38,661	-
為替レート(ウォン/USDドル)	1,160	1,130	1,101	1,166	1,180	1,220	1,188	1,116	1,115	1,099	1,112	1,131
生産者物価(%)	▲ 1.8	3.5	1.9	0.0	▲ 0.5	▲ 1.5	▲ 0.5	▲ 0.2	2.3	0.9	2.1	3.9
消費者物価(%)	1.0	1.9	1.5	0.4	0.5	▲ 0.1	0.6	0.4	1.1	0.6	1.1	1.5
株価指数(1980.1.4:100)	2,026	2,467	2,041	2,198	2,873	2,108	2,328	2,873	3,061	2,976	3,013	3,061

(注) 国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値  
国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価、消費者物価は2015年基準  
貿易収支、輸出入はIMF方式、輸出入はfob価格

(出所) 韓国銀行、統計庁他